



ユネスコ会員綱領

心の中に平和の守りを固めよう
すべての人間の尊厳を重んじよう
教育・科学・文化の発展に努めよう
民族間の疑惑と不信を除こう
世界を友愛と信頼のきずなで結ぼう

就任のあいさつ

理想をもつて実践を

若者の可能性に期待する

広島ユネスコ協会会長 岡田泰二



戦争と平和——語呂の良い対称語のようであるが、はたして戦争の反対が平和であろうか。

平和は、それ自身独得の意味のある言葉ではあるまいか。

高い文化と教養にはぐくまれ醸成され、やがて昇華された精神生活が平和の原点である。それは個人、個人の中に生まれ、川の流水の如く集まり、大河の流れとなってゆく性格のものである。

したがって、レベルの高い教養をもつように努力することがより高度の平和の心をもつこと

になり、平和の実践につながると思う。実践のない理想、理想のない実践は無意味である。生活倫理の確立こそ、ユネスコの精神であり、そのユネスコの精

神の輪を広げたいものである。若者よ、青年ユネスコよ、私は諸君に期待する。若者は大きな可能性を持っており、すばらしい未来性を持っている。実践に應じてはならない。しかし、平和の精神はユネスコメンバーの専有ではない。実践にあたって、エリート意識にとらわれてはならない。メンバーが音叉の中心となって社会の人々の持つ平和の精神に響振して、大きな音楽をかなでようではないか。

広島ユネスコ協会

五十六年度役員

- ◇名誉会長 荒木武 ◇顧問 内海巖 ◇会長 岡田泰二 ◇副会長 松原博臣・信井正行・河村盛明 ◇常任理事 藤井千之助・溝上泰・森分孝治 (組織活動) 古川浩司・石田昌義・水野文隆 (文化活動) 加藤朗一・新川貞之・定宗一宏 (国際交流) 深崎敏之・北川建次

永田龍男 (広報活動) 高橋昭博・藤井正一・古田碩永

- ◇理事 俣野仁一・藤本嘉一・田中登志子・山口和彦・斉藤清三・尾尻隆之・江川琢也・滝口節夫・太鼓矢晋・池田博重・末野忍・亀井章・長迫凱郎・福永武志・山根繁徳・深瀬文恵・松岡盛人・薄田信也・兼田是樹 ◇監事 生塩公敬・増田昭二 ◇事務局長 伊藤亮三

去る九月十九日・二十日と初秋の中、静かな冠高原グリーンクラブで広島ユネスコ協会理事(九名)と青年部員(五名)が今後のユ

ネスコ活動を推進してゆく方針について始めての研修を行った。岡田会長の肝入りで、始めての合同研修会が実現した。マ

秋の冠高原でユネスコ活動を語る

イクロバスで八十分の道のりである。西洋風なしよしやな建物が見えてきた。周囲には、馬場テニスコート、プールなどが整備されている。

は、当協会の発展する姿でもありたいと思つた。

翌日の早朝、飯山ダムの周辺を散歩し、朝食後テニスで汗を流した後、青年部の人々から今まで続けてきた活動報告を聞き、一層協力していくことを確認した。二階の窓から見える豊かな緑の広がり

みんなが活動する協会に

新事務局長 伊 東 亮 三



広島ユネスコの
 華・永井
 澄事務局長の
 後、次長の後
 を受け事務局長のお世話をすることになりました。なんと縁の下と力の多い仕事のこと。永井旧会長のものとよく黙って？

最近のユネスコ新聞の見出しを列挙してみよう。「考えるユネスコ」「地球の危機は人類連帯への転機」「考えよう実践しよう平和の確立を」……この一面の見出しを見ただけで読みたくなくなります。実を言う私も読んでいません。

ユネスコの趣旨は尊いものでそれを大学や高校の先生が中心となるとますます固苦しいものになります。しかし、ユネスコは精神修養団体ではありません。もっと参加することが楽しい協会にしましょう。

第一回教養講座を開催

第一回広島ユネスコ教養講座を来る十一月十六日(月)午後六時から、平和記念館(平和公園内)において開催いたします。今回のテーマは、「ガンについて」で、講師は、当協会の

岡田会長です。
 万障おくりあわせのうえ、多数ご参加ください。

ご意見をお寄せください

広島ユネスコ協会は、会員のみなさんご意見等を会の活動に反映していきたいと考えてい

い協会にしましょう。
 先般、新会長のお世話で冠高原グリーンクラブにて常任理事と青年部とで交歓会を行い、スポーツを楽しみました。誤解を恐れずにいえば、まず協会の楽しい社交クラブにしましょう。職業・地位・年齢の違う人たちが、職場を離れて交歓できる会にしましょう。協会そのものが楽しいグループであれば、会員は自ら増えるはずですよ。

女性と青年部が活動する協会へ

四月にタンポポの会のコンサートを開きました。その時、個人で入場券を大量に売りさばいて下さったのは永井夫人と青年部の樫原夫人でした。お二人に敬意を表するとともに、保険の勧誘員が女性である理由がよくわかりました。行動力が違うのです。ウーマン・アンド・ヤングパワーで広島ユネスコの発展を図りたいものです。



い。どしどしご意見をお寄せください。

事務局の辛さ・楽しさ

前事務局長 永 井 澄



四年ほどの期間でしたが、広島ユネスコ協会の事務局のお手伝いをさせていただきました。正直に言って、「苦しきことのみ多かりき」という実感です。協会の財政が豊かであれば、そういうこともなかったと思われませんが、何しろ、何か一つ行事をやれば、必ず赤字が出るという状態でしたから、お金のことがたえず気になっていました。

したがって、優れた事務局長・事務局員を得るか得ないかが、協会活動の死命を制するわけです。この点、私のような頼りない者では、マイナスが多いばかりです。本年度からは、伊東亮三先生に事務局を引き受けていただくことになり、ほんとうにホッとしています。

楽しいことと言えば、青年部の人達と行事を通して談笑できること、外国のユネスコ関係者を迎えて交流をもてること、何とか行事を無事終了した後の一種の成就感などをあげることができましょう。広島ユネスコ協会が、新しい会長、事務局長のもとで、今後大いに発展されることをお祈りいたします。

会費を納入ください

本年度から「ユネスコ新聞」代が大幅に上り、事務局は赤字財政になりそうです。会費未納の方は「広島銀行本店普通預金 六〇六四一三番広島ユネスコ協会」宛振り込んでください。

